

教 育 目 標 : 『豊かな心を持ち 共に学び合う 元気でたくましい伊尾木っ子の育成』
めざす子ども像 : (1)主体的・協働的に学ぶ子 (2)「思いやりの心」「感謝の心」「たくましい心」そして、健康な体を持つ子
(3)臆せず堂々と表現でき、コミュニケーション力を持つ子(元気にあいさつができる子)

伊尾木小学校



学校だより

なぎの木

令和7年度9月号 9月1日発行

☆ 2学期スタート☆

いよいよ今日から2学期がスタートしました。夏休み中はひっそりしていた校舎も、今日は子どもたちの元気な声であふれています。学校のあちらこちらから、元気な「おはようございます」の声、教室からは友だちと楽しそうに話す声が聞こえてきます。やっぱり、「子どもたちがいてこそ、学校だなあ」とつくづく思ったことでした。そして、この子どもたちのために、「2学期もがんばらねば」と、気持ちを新たにしましたことでした。暑さ対策のため音楽室で行った始業式に勢ぞろいした子どもたちの顔は、やる気に満ちあふれているように見えました。

保護者・地域の皆様には、夏休み中、家庭・地域で子どもたちを温かく見守っていただき感謝申しあげます。

2学期は、1年で一番長く、行事が多い学期です。敬老会をはじめ地域のために取り組む行事もたくさんあります。気持ちの良い挨拶を基本に、自分の中にある無限の可能性を引き出していきましょう。



☆ PTA 主催『夏休みラジオ体操』☆

PTA と地域が協力して取り組む伊尾木地区ならではの「夏休みラジオ体操」。子どもたちは眠い目をこすりながらがんばって挑戦しました。地域の方もがんばって参加してくださいました。皆勤賞8人には、最終日の29日(金)公民館から表彰状と記念品をいただきました。今年は夏休みの始め1週間と終わりの1週間の2週間に期間を短縮しての実施だったこともあり、たくさんの人が参加することができました。参加した人は挑戦した分、生活リズムを崩すことなく、スムーズに2学期を迎えられたのではないかと思います。毎日、準備等をしてくださった小島公民館長様をはじめとする地域の方々、送迎をしてくださった保護者の皆様、本当にお世話になりました。



☆ がんばったよ！校内水泳大会 ☆

7月18日(金)に校内水泳大会を行いました。子どもたちは、6月のプール開きからこの校内水泳大会を1つの目標に安全に気をつけながら水泳の授業に熱心に取り組んできました。2種目目の泳法を身につけたり、正しいフォームを体得したり、泳げる距離が伸びたり、タイムを縮めたり、一人ひとりが大きく成長を実感できたのではないのでしょうか。1・2年生がいないこともありますが、全員が25m以上泳ぐことができるようになりました。水泳大会では、その成果を発揮して力一杯の泳ぎを見せてくれました。



☆ みんなで給食！（ランチルーム）☆

2学期から給食を全校いっしょにランチルームで食べることにします。児童数減少に伴い、1クラスの給食の量が減ってきました。また、安芸市では、自校方式からセンター方式への段階的な移行が進み、間もなく市内全校の給食を給食センターで提供することになります。そこで、給食センターの業務を効率化できるよう、食缶をまとめることにより、温かいものをより温かい状態で提供できるよう、縦割り班の交流の場が増えるように、などの目的で、全校で給食を食べることにしました。1階の「フリールーム2」をランチルームとして使用します。配膳室からの距離が最短で、運ぶ労力も最小限で済みます。給食当番は各クラスが1週間交代で行うので、給食エプロンの洗濯は2週間に1回になります。9月8日(月)から(当番は5・6年生)実施する予定です。

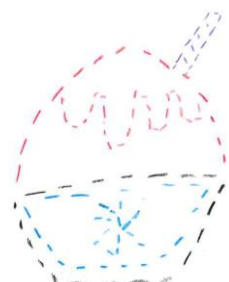
☆ 校時の変更について ☆

下山小学校との合同授業(英語・理科)の実施に伴い、4月から5時間目の開始時刻を10分早めました。実際やってみると、長休み・昼休みがそれぞれ5分短くなり、十分遊ぶことができないという課題が出てきました。一方、下山小学校の方でも、移動にかかる時間が窮屈であるという課題が出てきたようで、両校の課題を解決するために、2学期から5時間目の開始時刻を元へ戻し(下山は遅らせ)ます。昨年度と同じ校時に戻りますので、5時間目は14:00開始になります。下校する時刻も少し遅くなりますが、ご理解ご協力をお願いいたします。しっかり遊び、しっかり学ぶ2学期になればと思います。

☆ 「こども夢花火」☆

8月3日(日)に行われた第70回安芸納涼市民祭で打ち上げられる「こども夢花火」のイラスト募集に希望者が応募していたところ、5年生の竹崎■■さんの作品「かきごおり」が選ばれました。
① 過去にスイカ、ナスはあったが、「かきごおり」はなかった。
② かき氷の花火は、全国初かも？少なくとも中四国初？
③ かき氷の絵が、花火師目線で見ると「形にできるんじゃないか？」と思わせてくれる、点線にして絶妙に上手に描いてくれていた。
以上の3点が選考に至った大きな理由だったそうです。

この花火は徳島県の花火業者の副工場長さん(高知市出身)が作成してくれたそうです。その副工場長さんは親戚が安芸市にお住まいで、安芸の花火を小学5年生の時に見て感動し、花火師になった女性だそうです。当初、器に描かれた「氷」の文字は無理だろうということでしたが、せっかくなのでチャレンジしてみたいということで作成してくれました。実際に描いたイラストと高村火薬店さんから送られてきた画像は下の通りです。



裏面に、9月と10月の行事予定を載せています。ご覧ください。